

◆調査日程 令和8年2月18日(水)～20日(金)

◆調査先・調査内容

①政策研究大学院大学 西垣 淳子 特任教授(元石川県副知事)

〈調査の内容〉

西垣特任教授は、能登半島地震時に副知事として災害対応に尽力された方である。今回は、当時の石川県の災害対応や能登半島地震の経験を踏まえた地方自治体としての防災・減災に対する取組などについて話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・液状化が起こった内灘町への対応
- ・地域コミュニティをいかしたまちづくりについて
- ・災害時の情報の一元化・DX化について



②鹿磯漁港(石川県漁協門前支所)

〈調査の内容〉

海底が4メートル隆起し、港の機能が停止した鹿磯漁港の当時の被害状況や復旧状況について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・海底が4メートル隆起したことに対する漁船や漁への影響について
- ・震災後の漁港の埋立て部分について
- ・漁協の施設の被災状況について



### ③合同会社とうげマルシェ

〈調査の内容〉

とうげマルシェはカフェとミニスーパーを兼ねた施設。誰もが気軽に集まり、買い物ができる「マルシェ」を作ろうと、住民有志が復興に向け設立。クラウドファンディングや自己資金で店を建て、令和7年11月24日に開店した。

今回は、立ち上げに至った経緯や復興への取組状況について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・立ち上げ時の行政の支援について
- ・クラウドファンディングについて
- ・被災当時の状況について



### ④輪島市応急仮設住宅 稲屋町第1団地

〈調査の内容〉

移築可能な木造の応急仮設住宅団地を視察。

石川県と協定を結び仮設住宅の建設を行った一般社団法人日本オフサイト建築協会の小島誠一郎氏より、仮設住宅の建設経緯や仮設住宅の建設の仕組みなどについて話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・稲屋町第1団地に建設した仮設住宅の坪数や間取りについて
- ・仮設住宅の移築方法や建設方法について
- ・ボランティアへの貸出・入居料について



## ⑤社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会

〈調査の内容〉

輪島市社会福祉協議会は、能登半島地震でボランティアの受け入れや行政と連携して復旧・復興に取り組んできた。

今回は、ボランティア受け入れの対応やボランティアセンターの立ち上げ、輪島市災害助け合いセンターの活動について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・大分県及び他県社協職員の応援派遣について
- ・広域避難による地域を越えた他地域の社協との連携について
- ・災害関連死への対策について



## ⑥輪島市朝市通り・出張輪島朝市

〈調査の内容〉

1000年以上の歴史を持つ「輪島朝市」は、能登半島地震の大規模火災発生により朝市通り一帯が焼失。今回は、輪島朝市の組合長である冨水長毅氏から、火災当時の対応や復興に向けた朝市の取組について話を伺った。

また、焼失した朝市通りと、出張朝市として市内の商業施設に営業を再開した「出張輪島朝市」を視察した。

〈主な質疑等〉

- ・営業再開した出張朝市の店舗数、出品内容について
- ・復興に対する補助金等について
- ・輪島漁港の海底隆起による海産物の影響について

